

内閣府の「スタートアップ・エコシステム推進拠点都市」採択に係る
北橋 健治 北九州市長コメント

- このたび、本市は内閣府の「スタートアップ・エコシステム推進拠点都市」に採択された。これはひとえに、本市で活躍するスタートアップの皆様の成果はもちろんのこと、本市の企業や大学・高専をはじめとした関係機関の皆様の取組が高く評価されたものと考えている。
- 今回の提案内容は、民間、大学・高専、行政等が連携して、本市の強みである環境・ロボット分野を核に支援を強化し、スタートアップの力で本市から新たな産業を創出し、SDGs未来都市の実現を目指すものである。
- ロボットやDX等の革新的な技術は、生産性の向上を実現するとともに、人の密集・密接等を解消し、ウイズコロナ、アフターコロナの世界の新しいビジネスシーン形成につながる。
本市のエコシステム拠点形成計画の実施により、スタートアップ企業と市内企業とのコラボレーションを通じて、将来の地域経済をけん引するだけでなく、世界をリードしてゆく企業が生まれることを期待している。
- この採択を契機に、国の支援も活用しながら、産業界や大学等と連携し、スタートアップ企業の輩出・集積・成長に取り組んでまいりたい。